

目標の柱	3	誰もが健やかで安心して生活できる環境づくり
基本目標(政策)	3-3	福祉と子育て環境の充実を図ります
基本計画(施策)	3-3-4	・みんなで支えあう地域福祉の充実

	課	係
主管課・係	健康福祉課	社会福祉係
	健康福祉課	介護保険係
関係課・係	健康福祉課	健康増進係
	総合政策課	企画政策係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①高齢者や要介護者等が相談やサービスを受けやすくするための体制を整える。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①相談や支援を受けやすく、要支援者を身近な人達が見守り支える地域福祉の充実</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 生活困窮者生活自立サポートの支援数(プラン作成件数)</td> <td>世帯</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 生活困窮者生活自立サポートの支援数(プラン作成件数)	世帯	14	10	21	10	10	B							C							D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ①大きく上回った</td> <td>町保健師や各地区の民生委員、地域包括支援センター等からの情報提供により、相談に結び付いているため。</td> <td>⑤ その他</td> <td>支援数が少ないのが理想だが、「支援数の減少＝生活保護の増加」等となる可能性が高いため、目標値の設定が難しい。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ①大きく上回った	町保健師や各地区の民生委員、地域包括支援センター等からの情報提供により、相談に結び付いているため。	⑤ その他	支援数が少ないのが理想だが、「支援数の減少＝生活保護の増加」等となる可能性が高いため、目標値の設定が難しい。	B				C				D			
			単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度																																																					
	実績値	目標値		実績値	目標値	目標値																																																							
A 生活困窮者生活自立サポートの支援数(プラン作成件数)	世帯	14	10	21	10	10																																																							
B																																																													
C																																																													
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ①大きく上回った	町保健師や各地区の民生委員、地域包括支援センター等からの情報提供により、相談に結び付いているため。	⑤ その他	支援数が少ないのが理想だが、「支援数の減少＝生活保護の増加」等となる可能性が高いため、目標値の設定が難しい。																																																										
B																																																													
C																																																													
D																																																													
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と支援に必要な情報を共有しています。 ・財政的な支援により、法人等の安定した運営が可能となり、きめ細やかなサービスの提供等につながっています。 																																																												
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者からの情報提供を通して健康状態や生活環境についての把握をしているほか、高齢者見守り支援員からの情報等についても有効活用することにより、早期の対応に結び付いています。 ・早期での対応をすることにより、相談者の自立につながっています。 																																																												

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町社協及び県社協と連携したスピーディーな対応をすることにより、相談者との信頼関係等が構築され、問題の解決等につながっています。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した支援や専門的な知識が必要となるケースが多いことから、専門知識の習得や人材の育成が急務であると思われます。

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<p>専門的な知識や経験等を有していないと対応できないような相談等も多くなっていることから、専門家による定期的な相談会の開催についても必要になると考えられます。</p>										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:50%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁護士や司法書士、人権擁護委員等による定期的な相談会の開催</td> <td>県社協の相談支援員による定期的なサポートを行うとともに、法テラスの積極的な利活用を図る。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	弁護士や司法書士、人権擁護委員等による定期的な相談会の開催	県社協の相談支援員による定期的なサポートを行うとともに、法テラスの積極的な利活用を図る。						
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
弁護士や司法書士、人権擁護委員等による定期的な相談会の開催	県社協の相談支援員による定期的なサポートを行うとともに、法テラスの積極的な利活用を図る。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	社会福祉団体育成支援事業	健康福祉課	目的	社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図る。				
			概要	社会福祉事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助を各関係機関と連携し実施する。				
			成果	社会福祉協議会や各地区の民児協等において、積極的な活動が行われている。				
		社会福祉係	問題	社協担当職員の年齢構成に偏りがあることから、将来を見越した採用や人材育成が求められる。				
			対策	ノウハウを持つ社会福祉協議会等と連携し情報収集、計画づくりを進める。				
			事業費	52,505	52,505	59,160	59,160	52,675
02	在宅介護支援事業	健康福祉課	目的	在宅介護に関する福祉サービスを総合的に提供する。				
			概要	在宅の要介護高齢者やその家族に対する相談業務。				
			成果	福祉施設入所や福祉用具の相談に応じ在宅の支援に寄与した。				
		社会福祉係	問題	相談業務に対応すべく保健医療職員の配置が望まれる。				
			対策	社会福祉法人南会津県と協議していく。				
			事業費	34,800	34,800	33,513	33,513	33,513
03	自殺対策緊急強化事業	健康福祉課	目的	町民に対して心の病気の早期発見、早期治療を促すための普及啓発を行い、自殺予防を図る。				
			概要	各地区集会所にうつ病予防のための啓発グッズを配布。				
			成果	心の病気に対する知識の向上や相談窓口について、町民に対し啓発を図ることができた。				
		健康増進係	問題	心の病気に対して、町民の関心が低い。				
			対策	今後も継続して、訪問活動や心の病気に関する普及啓発活動を行う。				
			事業費	108	55	111	58	111
04	福祉ホール管理運営費	健康福祉課	目的	社会福祉の向上と高齢者の介護予防を図る。				
			概要	南会津町福祉ホール管理運営費 ※指定管理施設				
			成果	社協の事務所として管理し社会福祉の拠点となっており、生きがいデイを実施するなど充分活用されている。				
		社会福祉係	問題	ボランティア登録団体は利用無料となっている。				
			対策	実費負担などを求めるべき。				
			事業費	4,892	4,892	5,372	5,372	5,372
05	ひきこもり者社会復帰支援事業	健康福祉課	目的	社会生活を円滑に営むことが困難な若者の社会的自立と就労意欲を促進させる。				
			概要	訪問相談を重ねながら、信頼関係を構築させる。なお、ユースプレイス(居場所)において興味を持ってもらえるような各種プログラムを提供することにより、ひきこもりの解消につなげる。				
			成果	6名(男3名・女3名)が登録し、ユースプレイスで実施する各種プログラムに延べ16名が参加した。また、訪問相談を実施していた1名が職場へ復帰することができた。				
		社会福祉係	問題	家族等がひきこもり者と認めないほか、存在を隠そうとするため、なかなか支援に結び付かない。また、信頼関係を構築させるまでに時間を要することから、直ぐに効果が見えない。				
			対策	南会津保健福祉事務所等の関係機関と情報を共有しながら、信頼関係の構築に努める。また、広報紙等を活用しながら、事業内容の情報発信を強化する。				
			事業費	3,000	1,000	3,000	1,000	3,000
06	成年後見制度利用支援事業	健康福祉課	目的	判断能力が十分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の権利侵害の防止を図る。				
			概要	法人後見人として実務経験のある町社協が相談機関となり、成年後見制度の普及啓発や制度の利用促進(支援)につなげる。				
			成果	成年後見センターや地域包括支援センターと連携することにより、1件の町長申立てを行った。また、以前に町長申立てを行った成年後見人1名に対して、成年後見人等報酬扶助を行った。				
		社会福祉係	問題	後見人が必要と思われる予備軍は多いが、成年後見人等の担い手(特に専門職)が地域内に少ない。また、申請等に手間が掛かることから、親族等がいても申請につながらないケースも多い。				
			対策	成年後見センターの機能強化に努める。また、町内にいる人材(司法書士や社会福祉士等)等に協力を求めながら、成年後見人等の担い手の確保に努める。				
			事業費	5,214	5,054	5,488	5,107	5,488
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			100,519	98,306	106,644	104,210	100,159	97,725